

シラチャ校だより

泰日協会学校
シラチャ校

2022. 6. 30



子どもたちの自己有用感を高めるために

泰日協会学校シラチャ校 教頭 倉 博之

今日も学校には、子どもたちの歓声が響き、友だちの笑顔に魅せられ笑う子どもたちの姿があります。楽しそうに、食い入るようにその友だちの顔を見つめる瞳はとても素敵です。先日、中学部のアクティブに参加し、久しぶりに汗を流す機会を得ました。そこにも、その活動に実に熱心にさわやかに取り組む姿があり、そんな子どもたちを見ていて、自分の存在や行動は人を幸せな気持ちにさせるんだという事実気付いてほしい、自分のしたことで喜ぶ人がいるという喜びを数多く体感してほしいと思いました。

自分事で恐縮ですが、そんな時に決まって思うのは、漁師の家に生まれた自分の幼少期のこと。この季節になると、まもなくウニ漁が始まり、早朝から海に出た父親が帰ってくると、家族で殻を割り実を取り出し、箱詰め作業。小学・中学時代の私も立派な(?)働き手です。夏から始まる主力商品のコンブ漁ともなると、親族総出で、自分の出番もより一層多くなり重要です。時には、いや、しばしば父親に怒鳴られながら、でも確実に家計を支えている(と思える)一員でありました。その時は、それほど強く感じてはいなかったと思いますが、でも、時折見せる父親の笑顔や通い舟に向かう私を心配しながらも、舟上で食べるおにぎりを持たせてくれ、戻る私を陸で迎える母親の様子、気遣う言葉から、自分が役に立っていると言う実感があり、それがとても嬉しかったのを覚えています。

当然のことながら、自分の小さい頃との社会の変化は大きく、私と同じような体験は難しくなっているとは思いますが、時代が変わっても、住む場所、環境が違って、子どもたちには、人の役に立つという実感を多く経験してほしいと強く願います。そして、その基盤はやはり家庭の中にあると思うのです。経験の始まりは、親や家族の役に立つという嬉しさ、誇らしさであってほしいと思うのです。それは始まりに留まらず、成長と共に「感謝」というものに形を変えながら、一生続く心の大きな支えになるはずです。

必然的に得られてきたであろう経験が難しいとすれば、私たち大人がその機会を意図的に保障しなければなりません。シラチャで暮らす環境の中でできる、家族の一員としての役割をさりげなく与え、その行動や行おうとする過程に励ましと称賛をおくり、自分が役に立つ存在であるという実感を得ることができるよう過ごし方を願います。私たち学校の今年のテーマはBasic First～基本を大切に～。あらゆる成長の基本として、子どもたちの自己有用感を高める指導・支援に全力で取り組みたいと思います。

明るく元気な歌声

中村 美奈子

シラチャ日本人学校に来て、初めての音楽の授業。とても緊張したのと同時に、どんな歌声が聴けるのかな…と楽しみでもありました。授業が始まり、自己紹介をかねてフルートで校歌を演奏すると、どの学年も明るく元気な歌声と一緒に校歌を歌ってくれました。おかげで緊張もほぐれ、同じ音楽を共有することで感じられる一体感がありました。私もシラチャ日本人学校の一員にさせてもらったのかなと感じ、とても嬉しい気持ちになったことを思い出します。校歌の役割や校歌をみんなで歌う理由が再確認できた出来事でした。校歌の力、音楽の力ってやっぱり素晴らしい！音楽室に響く明るく元気な歌声を聴きながら、シラチャ日本人学校でみなさんと出会えた奇跡に感謝し、音楽を通してこれからどんな素晴らしい体験ができるのか楽しみにしています。

美しい言葉や行動から見えるもの

あなたの心はどんな形ですかと 人に聞かれても答えようがない

自分にも他人にも心は見えない けれどほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど 心づかいは見えるのだ

それは人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど 思いやりは見えるのだ

それは人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり やさしい思いがやさしい行為になるとき

「心」も「思い」も、初めて美しく生きる それは人が人として生きることだ

詩人 宮澤章二さんの「行為の意味」という詩です。相手を思う優しい気持ちや助けたいと思う気持ちは、心に留めていだけでは伝わりません。言葉や行動で表現して初めて、相手に伝わります。シラチャ校のみなさんの温かい心が美しい言葉や行動になり、その輪がより大きくなるように一人一人が努めていきたいですね。

養護教諭 高橋千里



7月の行事予定

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(金)	個別面談(小) 三者面談(中) 全校5時間授業 【小:学級だより】	14:20 P1-6 M1-3
2日(土)		
3日(日)		
4日(月)	全校5時間授業 ATK提出日(小3・4)	14:20 P1-6 M1-3
5日(火)	小2校外学習1(ノンヌット) 小4校外学習A(浄水場)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
6日(水)	小4校外学習B(浄水場) 購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
7日(木)	購買(注文票提出日) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
8日(金)	アクティブタイム(中)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
9日(土)	土曜登校日	11:30 P1-6 M1-3
10日(日)		
11日(月)	放課後指導3年 ATK提出日(小5・6) 【小:学級だより】	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3 14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
12日(火)		
13日(水)	アーサーンハブーチャ	
14日(木)	カオバンサー	
15日(金)	特別祝日	
16日(土)		
17日(日)		
18日(月)	クラブ(小) 放課後指導3年 ATK提出日(7~9年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
19日(火)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
20日(水)	購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
21日(木)	購買(注文票提出日) 放課後指導2年	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
22日(金)	【中:学級だより】	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
23日(土)	土曜登校日(授業参観日)	11:30 P1-6 M1-3
24日(日)		
25日(月)	放課後指導3年 ATK提出日(小1・2)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
26日(火)	小5校外学習(稲作体験)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
27日(水)	中:交流学習会 【学年だより】【学校だより】	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
28日(木)	国王誕生日	
29日(金)	特別祝日	
30日(土)		
31日(日)		

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。



8月の行事予定

日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(月)	ATK提出日(小3・4)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
2日(火)	小交流学習会①	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
3日(水)	中3ベンジャロン焼き体験 アクティブタイム 購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
4日(木)	小交流学習会② 購買(注文票提出日)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
5日(金)	終業式 全校5時間授業 【中:学級だより】【小:学級だより】	14:20 P1-2 M1-3

小3校外学習中止について

7月21日(木)に予定していた小学部3年生の校外学習は、先方の都合により中止になりました。

小2校外学習

6月に予定していた小学部2年生の校外学習は、7月5日(火)に延期となりました。学習の準備をたくさんした分、色々な発見ができるでしょう。

小4校外学習

小学部4年生は、7月5日(火)6日(水)にシラチャ浄水場へ社会科見学に行きます。私たちの生活を支えている大切な場所です。普段なかなか見ることができないので、細かい所までしっかり見てきましょう。

現地校との交流学習会

2年ぶりの交流学習会です。7月27日(水)は中学部がスッカポット校と、8月2日(火)と4日(木)は小学部がパサーズック校とそれぞれ行きます。どちらもミートを使用してのオンラインによる交流となりますが、タイの同世代の子供たちと一緒に活動できることは、本当に貴重な経験です。画面越しでの交流は対面以上に難しい部分もあると思いますが、タイ語や英語、ジェスチャーを交えて、日本の文化やタイの文化を伝え合えるように頑張ります。

オンライン授業参観

7月23日(土)に今学期2回目の授業参観を予定しています。今回もミートによる参観になりますが、お子様の学校での様子をご覧いただければと思います。詳細につきましては、後日ご案内をします。

中3ベンジャロン焼き体験

中学部3年生は、8月3日(水)にベンジャロン焼きの絵付け体験に行きます。本場タイの地でタイの先生から教わる伝統工芸は、とても貴重な経験となります。どんな絵柄と色合いの作品が出来上がるか今から楽しみです。

編入・退学時のプレゼントについて

例年、お子さんが退学されることになった保護者の方から「お世話になった学級のお友達に教室でプレゼントを渡して良いですか?」という質問が学校にきます。多くの子どもが編入したり、退学したりしていくのは日本人学校の宿命です。お気持ちは理解できますが、一度それを認めると、プレゼントを交換することがお子さんの編入・退学時の慣例になってしまいます。編入・退学時の学校でのプレゼントの受け渡しは行わないよう、学校としては保護者の方々にこれまででもお願いをしております。保護者の皆様のご協力をお願いします。